

2019年5月16日

各 位

株式会社ローソン銀行

農林中央金庫

JAバンクへの共同ATM設置にかかる農林中央金庫とローソン銀行との合意について

～2019年度から、JAや信農連の希望するJAバンクATMを共同ATMに代替設置～

農林中央金庫（東京都千代田区、代表理事理事長 奥 和登、以下「農林中金」）と株式会社ローソン銀行（東京都品川区、代表取締役社長 山下 雅史、以下「ローソン銀行」）は、JAバンクへの共同ATMの設置について合意し、2019年度より、農業協同組合（以下「JA」）や信用農業協同組合連合会（以下「信農連」）が希望するATMについて、ローソン銀行ATMへの代替設置を進めてまいります。JAバンク、ローソン銀行ともに、共同ATMの代替設置は今回が初めての取り組みとなります。

JAバンクとは、JAバンク会員であるJA、信農連、農林中金で構成するグループの総称で、農業者などの組合員などを対象に総合口座や各種ローンなどの金融サービスを提供するとともに、2018年9月末現在、全国に約12,000台のATMを設置しています。JAバンクでは、2018年12月に公表したJAバンク中期戦略[※]において、重点的に取り組む四つの事業展開の一つに「組合員・利用者接点の再構築」を掲げ、将来を見据えた店舗・ATMの再編に取り組むこととしています。この戦略に基づき、農林中金とローソン銀行は2019年1月15日に今般の合意を締結いたしました。ローソン銀行では、JAバンクのATMについて、ローソン銀行ATMへの代替設置を希望するJAや信農連とATMの設置に関する契約を個別に締結し、置き換えを進めてまいります。

ローソン銀行ATMへの代替設置により、JAや信農連は、ATMの設置・運営にかかるさまざまな負担軽減を図りつつ、お客さまへの利便性の維持が可能となります。また、JAバンクのキャッシュカードをお持ちのお客さまがJAバンクの提携ATMとしてATMサービスをご利用いただけることはもちろん、各銀行や信用金庫などを含む幅広い金融機関のカードをお持ちのお客さまもご利用いただけます。ローソン銀行ATMは海外で発行されたカードにも対応するため、訪日外国人のお客さまの利便性向上にも貢献いたします。ローソン銀行では、「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」という企業理念のもと、今後とも、金融機関の皆さまと一緒に“マチ”の活性化に取り組むことを目指してまいります。

[※] JAバンク中期戦略については、「JAバンク中期戦略（2019～2021年度）について」
(https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2018/20192021.html) をご参照ください。

■ローソン銀行概要

名 称	：	株式会社 ローソン銀行
代 表 者	：	代表取締役社長 山下 雅史
本 店 所 在 地	：	東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower
資 本 金	：	116 億円 (2019 年 3 月 31 日現在)
総 資 産 額	：	3,856 億円 (2019 年 3 月 31 日現在)
設 立	：	2016 年 11 月 25 日

■農林中央金庫概要

名 称	：	農林中央金庫
代 表 者	：	代表理事理事長 奥 和登
本 店 所 在 地	：	東京都千代田区有楽町 1-13-2 DN タワー21 (第一・農中ビル)
資 本 金	：	3 兆 4,804 億円 (2018 年 9 月 30 日現在)
会 員	：	3,570 団体 (2018 年 9 月 30 日現在) ※JA (農業協同組合)、JF (漁業協同組合)、JForest (森林組合) およびそれらの連合会、 その他の農林水産業者の共同組織等のうち、農林中央金庫に出資している団体
連 結 総 資 産 額	：	108 兆 411 億円 (2018 年 9 月 30 日現在)
設 立	：	1923 年 12 月 20 日

■JA バンク概要

名 称	：	JA バンク ※「JA バンク」とは、JA バンク会員で構成されるグループの総称
会 員	：	661 団体 (2019 年 4 月 1 日現在) 内訳：JA (農協) 628、JA 信農連 32、農林中央金庫 1
店 舗 数	：	7,651 店 (2018 年 9 月 30 日現在)
A T M 台 数	：	11,915 台 (2018 年 9 月 30 日現在)

以 上

<お問い合わせ先>

株式会社ローソン銀行 経営企画部 広報担当 大高・江口 電話：03-5435-1600

農林中央金庫 総務部 広報企画班 大谷・藤井 電話：03-5222-2017